

名誉市民に奥秋彦之さん



この度、中津森出身の奥秋彦之さんが名誉市民に選ばれました。名誉市民は、故増田誠画伯につづいて二人目となります。

奥秋さんは、奉仕の精神と強い向学心から教育行政の重要性に着目し、まず学校図書館の重要性を深く認識され、昭和五十五年から母校の宝小学校に一千二百二十万円を寄贈され「甲斐文庫」を設置して学校図書館の整備充実を図り、児童の学力向上に大きく寄与されています。

さらに、少年期に果たせなかった「進学の夢」を能力があるにもかかわらず、経済的な理由により就学困難な故郷の向学心に燃える学生のためにと、都留文科大学に入学する学生の奨学資金に昭和六十三年から平成七年までに併せて一億円を寄付され「奥秋基金」を設置し、これまで百名近くがこの奨学金制度を利用

しています。

このような、奥秋さんのヒューマニズム精神に基づく善意は、本市の教育文化の振興発展に多大な貢献を果たしてきました。

奥秋さんの略歴

- ◎ 大正五年六月二十日、旧南都留郡寶村中津森に出生
- ◎ 昭和四年三月、寶尋常高等小学校卒業
- ◎ 昭和三十六年十月、株式会社甲斐設立
- ◎ 昭和五十九年十月、横浜山梨県人会副会長

第貳号

称号記

奥秋彦之殿

あなたに都留市名誉市民の称号を贈ります

平成九年四月二十九日

都留市長 都倉昭二

(株)都留カントリー倶楽部

角田勇夫(身体障害者福祉事業へ多額の金員を寄付)

桂商事(株)

尾形 恵(社会福祉事業へ多額の金員を寄付)

米山 和三(自治会連合会会長として地域社会の振興に寄与)

角田 正次(自治会連合会副会長として地域社会の振興に寄与)

中谷今朝次(〃〃)

池田 真介(〃〃)

河口 諄(自治会長として地域社会の振興に寄与)

宮本 禎三(交通指導員として交通安全の指導に寄与)

小林 安典(〃〃)

朝日都留観光(株)
花形秀男(中央道フルインター建設へ多額の金員を寄付)

東洋農林(株)

堀江光一(〃〃)

都留観光(株)
新井福平(行政推進へ多額の金員を寄付)

(株)ティクワン

武井保雄(〃〃)

黒澤布差子(文化ホール建設へ多額の金員を寄付)

内藤 恭義(〃〃)

やなぎ会
岸川康代(〃〃)

都留歌謡連盟
勝俣茂雄(〃〃)

小池 利成(市立病院へ多額の金員を寄付)

天野 武(老人保健施設「つる」へ車椅子・歩行補助機を寄贈)

(物故)
佐々木宗道(市立病院へ多額の金員を寄付)

谷村第一小学校児童会・PTA
(市立病院へ車椅子を寄贈)

芙蓉会
小池知子(老人保健施設「つる」へ多額の金員を寄付)

都留ライオンズクラブ
高部民夫(市立病院へテレホンカードを寄贈)

◎勤続納税組合長
○四十年勤続
小宮 喜蔵(高尾町第十)

○三十年勤続
神座 嘉則(栄町十二)

浅見 章(新明町第三)

○二十五年勤続
小幡 定雄(仲町第二)

○二十年勤続
酒井 次雄(栄町三丁目第二)

小俣 正孝(宮原第一)

○十五年勤続
藤江 次郎(田原共栄)

市川 健(新町第八)

川上 政次(宮原第八)

相川 保美(十日市場中組)

○十年勤続
山本 充廣(新町九番組)

大野 幸男(田町第三)

重原 安雄(新井町上組)

勝俣 久磨(下夏狩第四)

板倉 六紀(古屋戸)

○五年勤続
大原 彰(田原伸栄)

落合 勇夫(上天神町第二)

等々力文男(仲町第五)

渡邊 直也(仲町第六)

三枝 晴雄(古渡中組)

◎五年以上勤続して退職した納税組合長
○十一年勤続
藤江 嘉隆(桂)

○八年勤続
渡邊 孝行(桂町第二)

小林 友幸(仲野団地)

○七年勤続
石合 良男(上天神町第二)

稀代 三郎(上天神町第四)

○六年勤続
森嶋 芳彦(加畑)

◎物故納税組合長
○十三年勤続
村上平作(上町四の二)

◎土地提供者
○道路・水路用地
高部 康 高部得治 高部幸雄

高部 季 大津芳男 佐藤全弘

杉田 修 黒部保太郎 関戸 務

佐藤生治 新津正道 中野重夫

志村 茂
○防火水槽用地
森嶋義雄 佐藤泰道

○公共用地
南都留養蚕農業協同組合宮原自治会

(敬称略)